

春を告げる修二会 古都に見付ける早春の息吹

日本の祭 シリーズ



写真提供：奈良市観光協会 写真：木村昭彦



神苑の椿やしだれ梅が春を告げる城南宮。

修二会の正式名称は十一面悔過(じゅういちめんげか)と言い、過去一度も絶えることなく行われてきた。



【奈良ホテル】

100年以上の歴史をもち、3万㎡にもおよぶ自然公園に包まれたホテル。本館は桃山御殿風総檜造り、新館は吉野地方の建築様式、吉野建てを採用。日本屈指のクラシックホテル。

夢の休日 東大寺修二会と早春の京都2日間

出発日・旅行代金(大人お1人様) /
 3月2日(金)・6日(火)(1名1室利用) 148,000円、(2名1室利用) 128,000円
 3月10日(土)(1名1室利用) 153,000円、(2名1室利用) 133,000円
 最少催行人員 / 10名様 食事 / 朝食1・昼食2・夕食1回付
 利用ホテル / 奈良ホテル 添乗員 / 同行し、お世話いたします

Schedule

08:30~10:00: 東京駅発。新幹線グリーン車にて京都駅乗り継ぎ、奈良へ	
1	午後 : 奈良市内で昼食後、奈良国立博物館にて特別陳列「お水取り」見学 夜 : 東大寺修二会拝観 (奈良泊)
午前 : 城南宮にて「しだれ梅と椿まつり」観賞	
2	午後 : 京町家にて家庭料理の昼食後、宝鏡寺にて「春の人形展」見学 京都駅発。新幹線グリーン車にて東京駅へ(18:30~20:00着)

※上記旅程は交通機関の都合、天候、現地事情等により、変更となる場合がございます。
 ※気象条件により花の見ごろとならない場合がございます。
 ※修二会では観覧席のご用意はございません。

詳しい旅行条件と内容を説明した書面をお渡しいたしますので、事前にご確認のうえ、お申し込みください。

東大寺二月堂の修二会は、天平勝宝4年(752)、東大寺開山、良弁僧正の高弟、実忠和尚が創始したものです。毎年3月1日から2週間にわたり実施されるこの法会では、二月堂の本尊である十二面観世音菩薩の宝前で、日常で犯すさまざまな過ちを懺悔し、人々の平和を祈願します。12日深夜には、若狭井という井戸から観音像にお供えする「お香水」をくみ上げる儀式、お水取りが行われます。修二会が別名、お水取りとも呼ばれるのはこれに由来し、奈

良では「お水取りが終わると春が訪れる」と言われるほど古くから親しまれてきました。本ツアーでは、修二会を拝観いただくほか、奈良国立博物館で実施される、特別陳列展「お水取り」も鑑賞。行事に関わる絵画、図像、文書や行事に用いられる珍しい法具などをご覧いただけます。また、2日目の城南宮では「しだれ梅と椿まつり」を、宝鏡寺では「春の人形展」を鑑賞。古都の春を感じる2日間へご案内いたします。

【資料請求先】 JTB ロイヤルロード 銀座 ☎ 0120-606-489 または 東京 ☎ 03 (3572) 5857 受付時間 / 10:00~18:00 (土・日曜・祝日・12/30~1/3 休)

旅行企画・実施 / ㈱JTB 首都圏 東京都品川区上大崎2-24-9 観光庁長官登録旅行業第1759号 一般社団法人日本旅行業協会正会員

※写真はすべてイメージです。